



オクラ出荷スタート

7月中旬最盛 17トを計画

JA種子屋久管内で6月上旬、令和4年産オクラの出荷が始まりました。今期は、230㌥で栽培し出荷量は17トを予定しています。

7月中旬には出荷ピークを迎え、1日約400袋（1袋80㌥）が出荷されています。出荷後は、鹿児島くみあい食品を通じて、全国の大型スーパーなどで販売されます。



タンカン摘果・防除講習

ノギスを配り実演

JA屋久島果樹部会は6月20日から24日の5日間、かこしまブランドに指定されている「屋久島たんかん」の摘果・防除講習会を開きました。

屋久島町や熊毛支庁、JAの職員らが、集落ごとに講習を行い、部会員に摘果の日安となる大きさを図る「摘果ノギス」を配布し、管理の注意点や生育状況の確認を行いました。



繁殖農家増頭支援へ

育成牛払下げ開催

JA家畜市場で7月1日、令和4年度1回目の育成牛払下げを開きました。

今回の払下げでは、17頭が取り引きされ、最高価格147万円、平均価格80万9000円となりました。第2回は9月16日（金）に開かれる予定となっていますので、生産者の皆様のご参加をお待ちしております。



JA運営への参画に向けて

重要性理解深める

JA女性部中種子支部は6月22日、女性部活動やJA運営への女性参画について理解を深めるため、JA女性部「輝らめき研修」を開きました。部員やJA、経済連など、54人が出席し、JA運営への女性参画に向けて組合員加入や女性部活動の重要性を確認しました。

